# **CICSEIVE®**Assured recovery™

Arcserve® Replication/HA r16.5のご紹介

**Arcserve Japan** 

Arcserve RHA r16.5 は何が良くなったのか?

- 1. 新0Sへの対応
- 2. Hyper-VシナリオのWAN対応強化
- 3. コンピュータ エイリアスの切り替え
- 4. マルチテナント対応
- 5. イベント通知機能がSMTP認証に対応
- 6. その他の機能改善

## 痒いところに手が届く機能追加

## > 新OSへの対応

#### Windows Server 2012 以降の新機能ももちろん対応

ReFS

NTFS重複除去

論理4Kセクタ

記憶域スペース

Hyper-V 3.0

# Windows Storage Server 2012/2016 にも対応!



#### ファイルサーバなら 混在環境もOK!

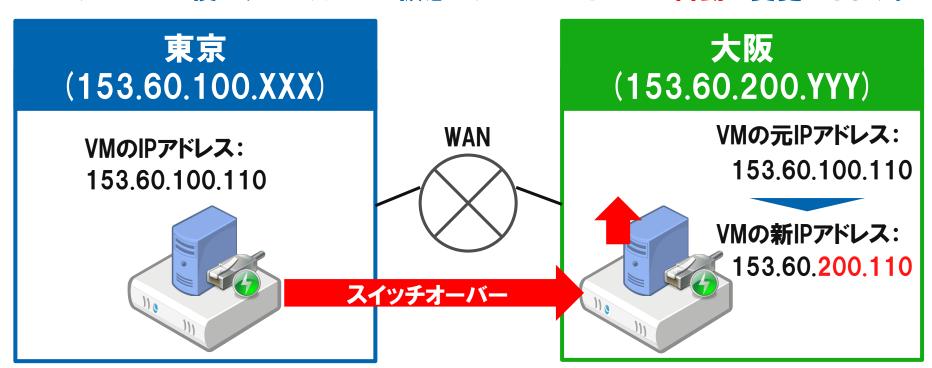
Windows Server 2012 Windows Server 2016



SP2より Windows Server 2012 R2にも対応 SP6(ファイルサーバ シナリオ)、SP7より、Windows Server 2016にも対応

## > [Hyper-V] Hyper-VシナリオのWAN対応強化

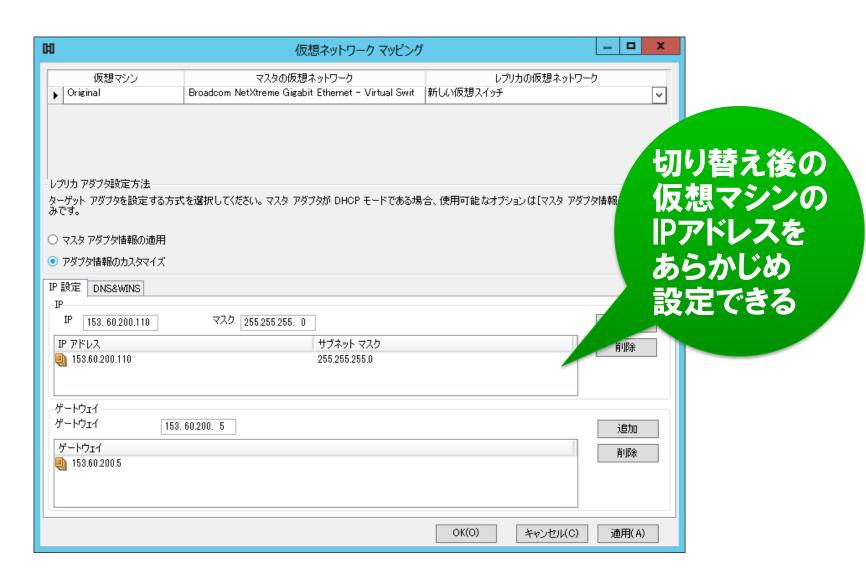
スイッチオーバー後に、レプリカ上の仮想マシンのIPアドレスを自動で変更できます。



ネットワークセグメント異なる環境へも、簡単にスイッチオーバーができるようになります。

## >

## <参考> Hyper-Vシナリオによる スイッチオーバー後のIPアドレス設定画面



#### > コンピュータ エイリアスの切り替え

#### エイリアス名で運用すれば・・・

- ・コンピュータの再起動無しで切替え!
- ・コンピュータ名が変更されないので、切替え後のアクセスがスムーズ!

#### DNS エイリアス (CNAME) 利用 STEP1:サービスの マスタサーバ 停止を検知 **REPLICA** MASTER (192.168.0.20) (192.168.0.10)STEP3:アプリケー ションサービスの起動 STEP2: CNAME ¥¥SERVER1¥ レコードの書き換え スイッチオーバー前 SERVER1(CNAME) : MASTER MASTER: 192.168.0.10 REPLICA: 192.168.0.20 スイッチオーバー後 SERVER1(CNAME) : REPLICA MASTER: 192.168.0.10 DNS サーバ REPLICA: 192.168.0.20 (詳細はブログ参照) http://arcserve.txt-nifty.com/blog/2013/10/arcserve-rha-r1.html

#### NetBIOS名のエイリアスの利用 STEP3:アプリケー ションサービスの起動 STFP1:サービスの 停止を検知 B ¥¥SFRVFR1¥ マスタサーバ レプリカサーバ スイッチオーバー前 スイッチオーバー前 MASTER(実コンピュータ名) REPLICA SERVER1(エイリアス) スイッチオーバー後 スイッチオーバー後 STEP2:マスタのエイリアスをし REPLICA(実コンピュータ名) プリカサーバに移動 MASTER SERVER1(エイリアス) (詳細はブログ参照) http://arcserve.txt-nifty.com/blog/2013/10/arcserve-rha--1.html

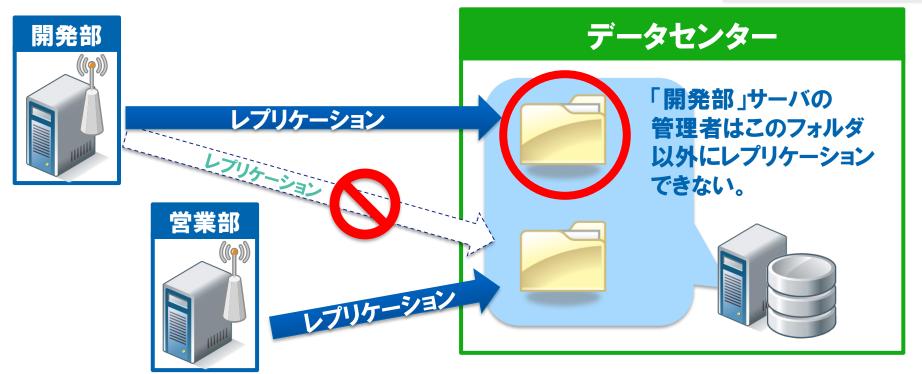
## マルチテナント対応

~ 認証機能の強化

こんな時に 使えます!

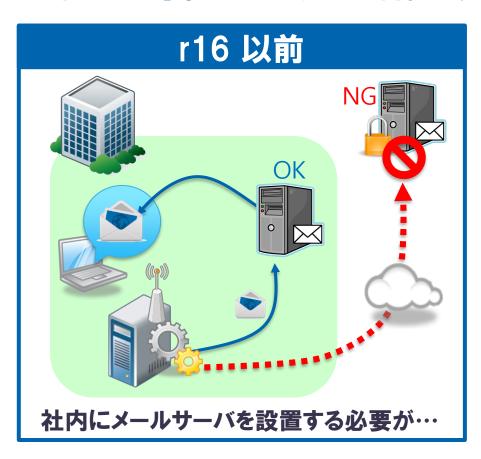
- →レプリケーションの管理はユーザ部門で実施してほしい
- →けれど、複製先を自由に触らせたくはない

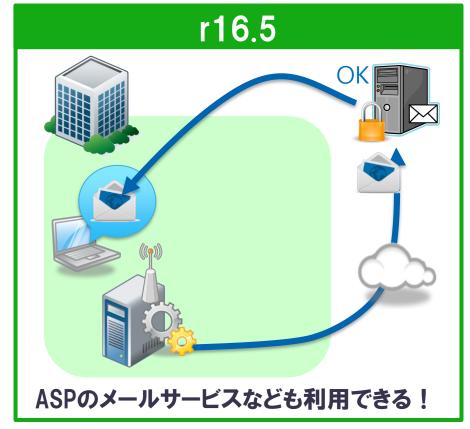




## > イベント通知機能がSMTP認証に対応

Arcserve Replication/HAのイベントを 25番ポート対策がされた、SMTP認証の必要なメールサーバを介して通知できます。





#### > その他の機能改善

#### Microsoft SQL Server の FILESTREAM をサポート

Microsoft SQL Server の機能であるFILESTREAMをレプリケーションする事ができるようになりました。FILESTREAMは画像など容量が大きいデータをファイルシステムに保存して管理するための機能で、SharePointなどで使われます。

#### 複数のインスタンスを持つ Oracle Database をサポート

従来バージョンでは、複数のインスタンスを持つOracle Databaseを単一のシナリオでレプリケーションする事ができず、複数のシナリオを作る必要がありました。r16.5では、Oracle Databaseのインスタンスを自動検出し、複数のインスタンスを単一のシナリオで保護できます。(※ Microsoft SQL Serverについては従来バージョンでも複数インスタンスをサポートしています。)

#### レポートのメール通知がよりシンプルに

Arcserve Replication / High Availability はレプリケーション レポートや同期レポートを生成する際に、あらかじめ設定してあるメール アドレスに通知する機能を持っています。r16.5ではこの機能が改善され、レポートをhtml形式のファイルとしてメールに添付するようになりました。この機能改善で、メーラーで簡単にレポートの内容を確認できるようになります。

#### レプリケーションの暗号化強度を128bit/256bitから選択できます

レプリケーション/同期によるデータ転送を暗号化する際の暗号化強度を選択できるようになりました。(従来は SSL/AES 128bitのみ)

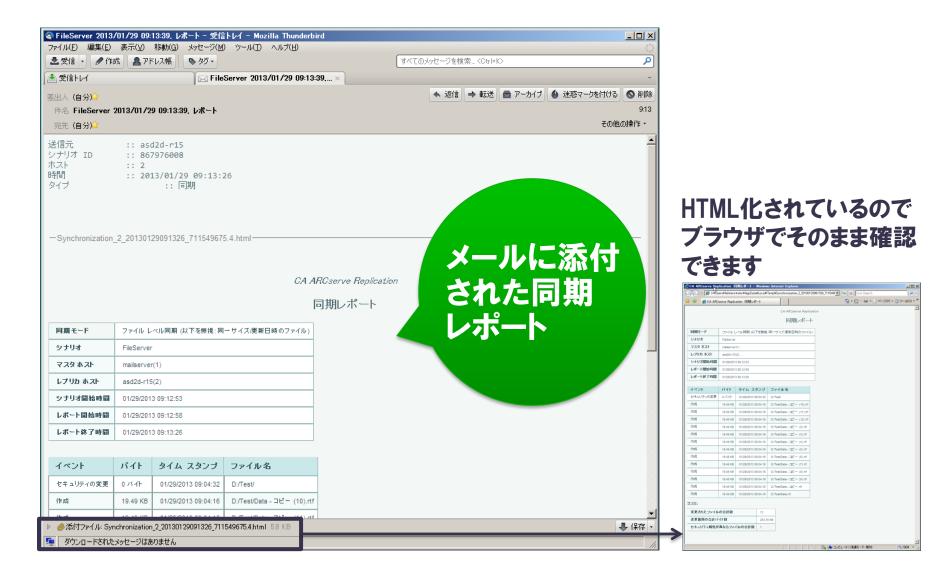
#### 監査機能の強化

重要なイベントや操作のイベントログに、ユーザ名が追加され、複数ユーザでArcserve Replication / High Availabilityを利用する際の監査機能が向上しました。(SP6より)

## > <参考> OracleのDB自動検出画面



## > 〈参考〉レポートの通知メールサンプル



## > 導入事例





#### 【株式会社 ジェーエムエーシステムズ 様】

- ~ Hyper-V シナリオ 導入事例 ~
- クラウドへの転送はネットワークコストがかかることを懸念し、レプリケーションを利用
- ・ 災害時にシステム担当者以外でも使えるくらい 簡単だと確信

# 【ソフトバンク・テクノロジー株式会社 様】 ~ ファイルサーバの移行事例~

- ・ 遠隔地へのファイルサーバ移行を短時間で
- ・ 600万ファイル、3.5TBの遠隔地レプリケーションを スムーズに

## > ご案内





災害対策・業務継続に! Arcserve Replication/HA <前編>

災害対策・業務継続に! Arcserve Replication/HA <後編>

https://arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/



#### Arcserveカタログセンター(カタログ、技術資料)

https://arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/



#### Arcserve ジャパン ダイレクト (購入前のお問い合わせ)

例:「この構成で必要なライセンスを教えてください」、「XXXはサポートされますか?」



フリーダイヤル: 0120-410-116

(平日9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)

Webフォーム: https://arcserve.com/jp/data-protection-software/how-to-buy-arcserve/



Copyright<sup>®</sup> 2014-2018 Arcserve. All rights reserved. Linux<sup>®</sup> は、米国その他の国の Linux Torvalds の登録商標です。 UNIX は、米国その他の国の The Open Group の登録商標です。 Microsoft、Windows、Windows Azure、Windows Server、Hyper-V、SQL Server、SharePoint は、米国その他の国の Microsoft の登録商標です。本資料で参照するその他すべての商標、商号、サービス マーク、およびロゴはそれぞれの会社に帰属します。

本資料は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、本資料を「現状有姿で」提供します。 Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、 Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。